

## 除雪機から草刈機へ

3 相馬市農業協同組合

7月4日、本所フルーツステーションの後ろにあるコンテナ置き場において、農協職員が草刈機の試運転を実施しました。2月に購入した除雪機に刈刃アタッチメントを取り付けることで、草刈機に変身します。

現在は農協の施設周辺の草刈を行っている。作業を通じて、草が短すぎると刈刃が遊んでしまうことを体験しました。

今年度より、中山間などの団体へ請負を実施しております。詳しくは総務課までお問い合わせください。



除雪機と草刈機の二刀流です

## 青年部通常総会

2 相馬市農業協同組合

7月10日、長慶閣において第60回青年部通常総会が開催され、部員30名が出席しました。

議事では全ての議案が可決され、今年度の役員改選に伴い新しい役員が紹介されました。

役員7名のうち4名が新たに選出され、新部長には五所地区の三浦剛さんが就任し、「皆さんの意見を取り入れながら青年部を盛り上げていきたいので、これからも協力宜しく願います。」と力強く決意を表明しました。この後、青年部60周年式典が同会場で行われました。



新役員紹介が行われました。

## りんご出荷生産者大会

17 相馬市農業協同組合

7月14日、令和7年りんご生産者大会が長慶閣にて開催されました。大会には生産者の他に弘前副市長など来賓や取引市場からなど約80名が参加しました。

大場組合長は「令和7年産も精一杯販売するので、ぜひとも入庫をお願いします。」と挨拶しました。

取引市場の特別表彰と令和6年産りんごの高価格販売に関する表彰も行われました。表彰を受けた東京青果㈱の村上部長は、「名誉ある賞をいただきありがとうございます。市場では数量の確保が必要であり、産地での高品質と安定した出荷数量の増加をお願いしたい」と述べ、令和7年度もしっかりと売っていきますと力強くおっしゃっていました。今年

から取扱う「葉とらずふじ」については、8月の巡回講座で詳細をお知らせします。出席をお願いします。



りんご取扱量75万箱目指します

## ちゃぐりん寄贈式

16 相馬市農業協同組合

7月15日、相馬小学校の校長室において、大場勉強組合長から全校生徒分の92冊の『ちゃぐりん』が贈呈されました。

農業に対する理解と興味を持つてもらいたい、児童に読んでもらいたいという理由から、毎年夏休み前にちゃぐりんの8月号を寄贈しています。

全校生徒の代表として、図書委員8名が大場組合長から本を受け取りました。

図書委員長の中井月寧さんは、「いただいた本を大切に、農業について学びます。」と感謝を表していました。



ちゃぐりんを受け取る図書委員の皆さん



## 清水森ナンバ出荷



今年も清水森ナンバの出荷が始まりました。津軽藩の初代藩主である津軽為信公が京都から持ち帰り、広めたとされており、約400年以上前から栽培されていると伝えられている野菜です。

沢田地区のお母さん方が心を込めて育てた清水森ナンバは、直売所で1袋120円にて出荷しています。

ナンバには、食欲増進や抗菌作用、血行促進効果があり、ビタミンEも含まれます。ナンバ漬けや素焼きで楽しむことができますよ。これから『林檎の森』の店頭に秋まで並ぶ予定ですので、ぜひこの機会にお買い求めください。



清水森ナンバは、人気商品なので入荷してもあっという間ですよ！

## リンゴ放任園の対策



7月23日、五所地区において放任園地の伐採作業が行われました。放任園とは、農地の所有者が後継者不在などの理由により管理が行われなくなった果樹園などを指します。

そのまま放置すると、病害虫の温床となり、鳥獣の住処となることで、周辺のリンゴ畑に支障をきたすため対策を求められています。

そのため、五所支会では体を壊して農業を継続出来なくなった園主の代わりにリンゴの木の伐採と抜根を行いました。



病害虫の発生源を防ぎます。

## ブルーベリー

### 親子収穫



7月26日、黒滝にある成田光生さんのブルーベリー畑で、相馬こども園支援センターの利用者親子が参加しました。

昨年も来てくれた2組と初めて参加した3組、合計5組の親子が収穫体験を行いました。

ブルーベリー畑を訪れるのも収穫するのも初めての方や、ヨーグルトに入れて食べさせたいと意気込むママさんなど、みずみずしいブルーベリー収穫を楽しんでいました。

成田さんの畑には様々な種類のブルーベリーがあり、色の違いや甘みの強いもの、酸味のあるものを食べ比べながら、カゴいっぱいのお土産をいただきました。



おいしいよと親切に説明する成田さん

## わい化栽培研究会

### 夏期研修



7月25、26日、わい化栽培技術研究会は南部方面で夏期視察研修を実施し、14名の会員が参加しました。

宮農大学校では、高密植わい化栽培の2年目の苗木と1年目の苗木の成長を観察し、初期管理について学びました。

会員からは昨年のお雪による苗木の被害の程度やトレリスの強度に関する質問が寄せられました。また、灌水設備に対する関心が高まり、6月からの高温干ばつを考慮して従来のわい化栽培にも活用できるのではないかとというアイデアが提案されるなど、実際の設備を見学したことよりご栽培の今後の発展が期待できるようです。



勉強熱心な研究会の皆さん

プラス

## 共防連夏期研修会



7月16日、長慶閣において共防連の夏期研修会が、各共防の出席者や農薬メーカーなどの関係者を合わせて80名で開催されました。

成田陽平会長は、「熱中症アラートが発令されている中、たくさんのご参加ありがとうございます。有意義な研修にしてくださいと思います。」と挨拶されました。

研修では、中南農林水産事務所の石井翔氏が「農作業事故発生状況と防止対策」について、青森県産業技術センターりんご研究所の石栗陽一氏が「本年に係るりんご病害虫の発生状況及び今後の対策」について講演を行いました。以前とは異なり、持ち時間は約5分程



研修会の開会挨拶する成田会長



各メーカー色々なブースづくりが行われていました。



盛りだくさんのおまけ付きです。



積込に注意を払います。



作業に梯子は欠かせません。

プラス

## 夏の大売り出し開催



7月19日、湯口支所特設会場において、夏の大売り出しが行われました。

購買品が年間で最も安くなることもあり、ダンボール資材や枝受支柱、飛馬ハイデン、タイヤックなどを求める生産者や、お得なレインスーツや長靴や梯子を探す人など多くのお客様で賑わっていました。

タイヤックを購入しに来た方の中には、最初から切れているものが欲しいと話し、切断作業が大変になったと語る方や、長靴を探していたところ、手頃な価格のヤッケ上下を見つけて嬉しそうに購入した方など、会場は終始笑顔にあふれていました。



丁寧な説明で購入かな?!



伝票はコチラです。

